

2020 SUMMER

ダレニ通信

vol.86



02 マイ・ページのご紹介
03 エクセレントNPO大賞
07 カンボジアの学校にトイレを

特集 04-06 子どもたちの様子

ラオス カンボジア ベトナムの 現状

支援者様紹介

08~09 株式会社富士通エフサス 様

「マイ・ページ」公開のお知らせ -----

(民際センター・支援者様専用ページ)

公益財団法人 民際センター設立時(1987年)は、電気も郵便制度もない支援地域が多く、そのような地域に奨学金を提供するのは容易ではなかったと理事長の秋尾は、現職員に語ります。

そんな時代と比べると今はどうでしょうか？ベトナムはもとよりラオス・カンボジアの郡部の学校の先生もスマートフォンを持つ時代になりました。ICT(情報通信技術)は日進月歩で発展してゆき、便利になる一方で、サイバー犯罪とよばれる脅威も現れました。

民際センターにおいても、コストをかけることなく、出来るだけ最新のICT技術を取り入れ以下の項目を実現してまいりました。



1. ホームページ(Webサイト)全体の通信の暗号化(常時SSL化)の実現。
2. データベースは、セキュリティの一層の強化を図るため、事務局のイントラネットからセキュアなクラウド上に移行。
3. 支援者様のご寄付の履歴や現状を容易に検索できるシステム作り。

しかしながら、ICT技術の向上そのものを目的とするのではなく、あくまでひとつのツールとして、「民際センターの活動をより多くの方々にお知らせすること。」「できるだけ簡単なプロセスで寄付を可能にすること。」「そして、「できるだけ多くの方々に、民際センターの理念である、民の力により、教育支援を通じて世界の貧困削減と平和構築を目指すことを知っていただき、さらにご支援していただくこと。」の3つの目的

を常に念頭に置いております。

そのひとつとして、この度、支援者様のサービス向上のため、「マイ・ページ」(民際センター・支援者様専用ページ)の開発を行い、ようやく2020年1月22日に公開させていただくことができました。「マイ・ページ」は、支援者様と奨学生、そして民際センターとのコミュニケーションを劇的に向上させるためのツールになります。「マイ・ページ」を利用することで、今までメールやお電話にて都度ご依頼をいただいていた支援者様ご自身の住所変更、電話番号変更、領収書発行先の変更などのご登録情報の変更を、ご自身で入力変更することが可能になり、尚且つ、年に2回のEDFグループからの郵送物でしか確認することができなかった支援履歴、支援状況表、奨学生写真*まで、PCまたは、スマートフォン、タブレットから確認することが出来るようになりました。

「マイ・ページ」を活用することによって、支援者様の情報の整理や支援にあたっての利便性の向上、事務局のコスト削減などを図ることを目指しています。公開から時間が経っていますが、まだまだご利用いただけていない支援者様も多く、改めて本号にてご案内をさせていただきました。メールアドレスさえお持ちであれば、ご自身でパスワードの設定を行い簡単にログインすることが出来ます。まだご使用でない支援者様は、是非この機会にログインしてみてもはいかがでしょうか。

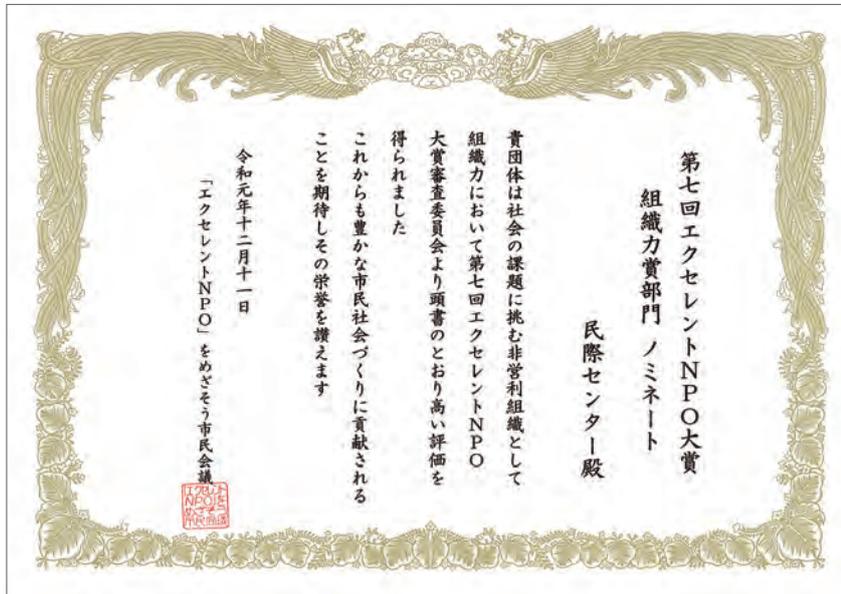
公益財団法人 民際センター
事務局長
南谷 勝典

*ラオス、カンボジアの奨学生については、現在準備中。(2020年4月現在)



「マイ・ページ」の使用方法：
www.minsai.org/oshirase/mypage

第7回 エクセレントNPO大賞にノミネート



結果発表を待つ、秋尾理事長(左から二番目)



昨年の冬、毎日新聞社の共催で2012年から毎年開催されている、特定非営利活動法人 言論NPO主催の第7回エクセレントNPO大賞 表彰式が2019年12月11日に毎日新聞社「毎日ホール」で行われました。

エクセレントNPO大賞はNPO法人の質の向上をめざし、自己評価を行いながら改善につとめる非営利組織を応援し、新聞社の協力を得て、社会に「見える化」をすることが目的とされています。

表彰式ではノミネートされた各団体の紹介後、「市民賞」、「課題解決力賞」、「組織力賞」の各部門賞、および「チャレンジ賞」の受賞者が発表され、応募総数97件のうち15団体が選考されました。今回、民際センターは「組織力賞」にノミネートされましたが、残念ながら惜しくも僅差で部門賞を逃してしまいました。

審査結果としては、民際センターが1987年から30年超活動を続けてきたことや、その間、困難な時期も含めて、継続の陰にあったリーダーの尽力をはじめとして、10年以上の寄付者が圧倒的に多い点、疑わしい寄付は検討後に返金す

る点、そして、わかりやすいホームページの運営など、信頼性の高い法人として評価されました。

信頼される法人運営には、改善や自己研鑽もさることながら、第三者の評価も重要なポイントとなります。会社に例えれば、投資対象としての格付け機関によるレーティング情報や、飲食サービスの世界ではミシュランガイドの星の数のように客観的な視点による、いわゆる「お墨付き」によって形成される信頼はより確かなものとなって、あらためて期待されることとなります。

近年、若く新しいNPO法人の設立が多い中、今回選考された15団体のうち、民際センターは最も古く、歴史のある法人でした。

これは言い換えれば多くの皆様にご支援いただいた賜物であり、まさしく「継続は力なり」、永きにわたる信頼関係の構築は一朝一夕、簡単にできることではないことに気づかされるとともに、貧困の削減と平和構築のための今後の活動に向けて、今回のノミネートによって気持ちが引き締まりました。

あらためまして、これまで支えていただきました皆様に感謝を申し上げます。

「中学に進学したい。」 11歳のカーン

カーン・レブセンチャン
(11歳、小学5年生)
----- ラオス



ラオスのカムアン県ヨマラス地区の小学校をもうすぐ卒業する11歳のカーン。2020年度の新学期が9月から始まりますが、中学に進学したいと願っています。

カーンは5人兄弟の末っ子。学校に通うことができず読み書きできない両親の元に育ち、兄や姉もこれまで学校に通ったことはあっても、日々の生活のため、家計を助けるために、みんな途中で学校を辞めて働くことになりました。



左から、姉、カーン、母親、兄

両親も兄や姉もみんな一生懸命働いていますが、それでも家計は苦しいのが現状です。1年に1度の米の収穫と、その他の野菜

の収穫だけでは家族

がその日その日に食べる分しかなく、それを売ってお金を稼ぐ余裕はありません。

この地域ではまるで当たり前になっていますが、両親も年上の子どもたちも都市に出て働くか、1日30,000キップ(日本円で360円)という少額の日雇いの仕事を他の農家でするしかありません。一般的な家庭の月収がおよそ700,000キップ(日本円で約8,400円)と言われている中、この種の仕事は毎日働くこともできず、安定した収入を得ることができません。

カーンの状況は、学校には行けなくなってしまった他の兄弟たちよりは恵まれています。また、教育を受けもっと学びたいという強い志も

持っています。国語が好きで学校の成績は優秀です。もし高校を卒業できるなら、軍の士官学校に通い、母国を守る兵士になりたいと考えています。家族を支えるために働き、国の発展にも貢献したいので、今は勉強を一生懸命頑張りたいのです。

カーン自身、いつ家計を助けるために学校を辞めなければならなくなるかと思うと心配で、それは、自分の周りの友達も同じだと言っています。そんな問題に直面しているにも関わらず、カーンは誰かを助けたり、友達に冗談を言ったり、誰に対しても明るくフレンドリーな性格の持ち主です。授業態度や学校での振る舞いは素晴らしく、学校の先生は、彼が家庭の事情で中退しなくていいよう、高校を卒業し、夢を追いかけるチャンスが与えられるように、彼への奨学金支援を願っています。

カーンは現在、祖母と一緒に暮らしています。朝早くからご飯を炊き、水を汲んで家まで運び、畑の野菜に水をやり、家を掃除することから1日がスタートします。学校から帰ると、鶏に餌をやり、夕ご飯を作る祖母を手伝います。そして全てが終わってから、寝る前にやっと宿題をする時間を作ることができます。寝るといっても家にはベッドなどなく、床で眠る日々です。

田植えで忙しいシーズンを除く学校が休みの日、彼の一番好きなことは、近くの川で魚を釣ったり、原っぱで虫を捕まえることです。しかし、これも彼にとってはただの楽しみではなく、家族のお腹を満たす大切な食糧を得る手段なのです。

「国語の先生になりたい。」 13歳のカンチャラー

チャンター・カンチャラー
(13歳、中学1年生)
-----カンボジア



学校で会ったカンチャラーは、貧しい境遇などまるで感じさせない明るく笑顔の素敵な生徒です。成績も52人中10位で非常に優秀です。

ですが、ダルニー奨学金を受けている彼女の家庭は大変貧しく、食べていくことがやっとの生活を送っています。

カンチャラーの家族は、母、祖父、祖父の再婚相手とその2人の子どもです。祖父には、再婚相手とその家庭があるため、カンチャラーと母と一緒に住むことも、表立って彼らの面倒を見ることもできません。

さらに、母は畑を持っていないため、食料は畑を持っている祖父夫婦から分けてもらっています。29歳の母は、小学校を中退していて読み書き



カンチャラーの住む家の中

きができないため、定職を見つけることは簡単ではありません。それでも、娘のために少しの収入を求めて毎日街に

出かけ、日雇いの仕事が見つければ、1日1,500リエル(日本円で約40円)ほどを得ます。そのお金で、カンチャラーは家の裏にあるお寺で英語の補習授業を受けます。母は「娘には、自分のように日雇いの仕事しかできないという悲しい思いはさせたくない」と稼いだわずかなお金を娘の教育費に使います。

この補習授業は、中学校・高校で全ての学校教員が私的に設けている塾のことで、カンボ

ジアでは、教育に割かれる国の予算が非常に低く、教員は月給1,100,000リエル(日本円で約30,000円)ほど。その収入だけでは、生活ができないため多くの先生はこの授業収入を生活の足しにしています。

一方、生徒たちはこの有料クラスを受けないと、通常クラスに付いていくことや、テストで良い点を取るのが難しく、授業料は、教科にもよりますが、1教科につき平均で月に20,000~40,000リエル(日本円で約540~1,080円)かかります。学校に通うことが精いっぱいの子どものいる中、なぜ、有料なのだろうかと思いますが、これがないと、大多数の先生は生活をするのができず、教員の数がさらに減ることが予想されます。

不安定な生活を送るカンチャラーですが、将来はクメール語(国語)の先生になりたいと一生懸命勉強しています。



左から祖父と息子、カンチャラー、母

「後輩を助きたい。」 15歳のタン

グエン・ル・ティエン・タン
(15歳、高校1年生)
----- ベトナム



タンは、民際センターの支援する地域に暮らす高校生です。タイビン省にあるミン・ラン高校に通う彼は、毎日、自転車で学校に通います。そして、その自転車は、祖母の命を救いました。

タンの両親は離婚してそれぞれの家庭があるため、今は祖父母と暮らしています。祖父母とも、70歳を超えていて最近めっきり弱ってきました。

その祖父母が働けないため彼の生活は苦しくなるばかりです。祖母は循環器系の病を患っているため病院通いをし、祖父は体の節々が傷むと言います。結果的に、家のことはすべて15歳の彼がしなければなりません。

昨年、タンは日本の方から自転車を寄付していただきました。そのおかげで家から12kmの距離にある学校にも通いやすくなりました。

また、祖母の定期健診のための、通院も彼女を自転車の後ろに乗せて連れて行けばよくなりました。

それまで歩いて連れて行っていたことを考えると、本当に気持ちが楽になったと言います。

先日の事です。祖母の容態が急に悪くなりました。田舎のことで道路の状態も悪く、病院は家から8kmもあるため救急車は来てくれません。タンは支援していただいた自転車に祖母を乗せて、急いで病院に向かい治療を受けさせました。

治療が終わった後、お医者さんからは「あと3分遅かったら、おばあさんの命はなかったよ。心臓の具合が悪くなっていたんだ。」と言われま

した。それを聞いて、タンと祖母は涙を流し、自転車をご支援いただいた方に心から感謝したのです。

タンは言います。「僕が卒業したらこの自転車は、通学が大変な後輩にあげます。そうすることで僕のように困っている子どもが学校に通うことができ、家族も助けることができます。」

日本に住んでいると想像できないことですが、ベトナムの貧困地域において自転車は、人々の命を救い、そして希望を与えます。



タンと祖母

カンボジアの学校にトイレを!

トイレ建設プロジェクト

カンボジアの学校におけるトイレの現状は深刻です。

カンボジア全土で学校の数は約12,000、

そのうち3,700余りの学校にはトイレが設置されていません。

さらに、トイレはあっても衛生的ではなく、多くの子どもたちがトイレに行くことをためらうため、

感染症や膀胱炎などの病気になりやすく、

それが原因で学校へ行くことが難しくなる生徒もいます。

カンボジア政府は、2003年に地方における水道整備、トイレ、衛生に関する政策を立案し、この政策は、2025年までにカンボジアの地方に暮らす人々が安心して使うことができる水の供給、トイレなどの衛生環境を整備することを目標としています。

カンボジアの教育青少年スポーツ省は、生徒や教師たちが水道とトイレなどが整っている環境の下で学校生活を送れるように「学校における水道・トイレ・衛生に関するガイドライン」を作成しました。ただ、現在までに清潔なトイレが設置されている学校はごくわずかです。

そのような状況を受け、民際センターでは現地の建設業者に依頼し、学校にトイレを建てるプロジェクトを始めました。

トイレが今すぐに必要な学校として、カンボジアの地方にあるチェ・シム・カンポントララーチ

中学校・高等学校があります。この学校では、同じ敷地内に生徒1,405人(うち女子生徒763人)が在籍しますが、トイレが6つしかなく、そこには手洗い場も浄水槽もありません。

副校長のデア・ロスピセイ先生は、「生徒の数に対してトイレの数が少ないため、多くの生徒はトイレの順番を長い時間待たなければなりません。その順番を待つことができず、家に帰って用を足すため、その後の授業に出ることができず学校を欠席しがちになる生徒もいます」と話します。

トイレの建設は、生徒たちの健康維持や就学率を上げるだけでなく、学校全体での衛生環境の改善や地域の子どもたちが社会の衛生や環境について考える機会を与え、その取り組みは地域の大人たちへも広がっていくことが予想されます。

そして、皆様の支援によって建設されたトイレが他の学校のロールモデルになることを私たちは期待しています。

建設期間は、約2か月でご希望者にはトイレの入り口にネームプレートをお付けします。ご興味のある方は、是非民際センターまでお問い合わせください。

皆様の温かいご支援をよろしくお願いいたします。



副校長の
デア・ロスピセイ先生



カンボジアの一般的なトイレ

創立30周年を迎えた 視察ツアーについて

株式会社富士通エフサス

昨年、会社創立30周年を迎えた、富士通エフサス様は、ICTインフラの企画・コンサルティング、設計・構築、設置・工事、導入・展開及び運用・保守サービスなどICT関連のトータルサービスをワンストップで提供している企業です。社会貢献活動(CSR)も積極的に実施されており、過去20年間継続的に、民際センターを経由してラオスの教育を支援する活動を行っています。



建設を記念するプレート

これまでに、ラオスの子どもたちの学びやすい環境づくりを手助けするため、富士通エフサス様及び富士通エフサス労働組合様が一体となって、カムアン県ラマラー村に小学校1校、同じくケムアン村に中学校1校、そしてセコーン県のピアマイ村に小学校1校を、全額寄付にて建設されました。

学校の設計にあたっては、一級建築士・加藤隆久氏(新宿NSビル、聖路加ガーデン、JR東日本本社ビルなど設計)のご協力のもと、富士通エ



植樹を行う堀副社長

フサス様及び富士通エフサス労働組合様そして民際センターにて安全で耐久性に優れ、心地良い学校づくりを目指しました。

これらの功績が称えられ、建築家 加藤隆久氏及び民際センターは、2010年に

日本建築学会賞を受賞しています。

この度、2020年1月に、創立30周年を記念して、富士通エフサス労働組合様の呼びかけにより、富士通エフサス代表取締役副社長 堀信之様を会社代表、労働組合中央執行委員長 星美智子様を、団長として、各部門より総勢27名の方にご参加いただき、建設した学校の現状確認や子どもたちとの交流を目的にラオスの視察ツアーを実施しました。

訪問先である、カムアン県ケムアン中学校では、創立30周年を記念して、校庭内に植樹を実施しました。参加者は、ラオス語で子どもたちの名前を一人ずつ確認し、カタカナの名札を一緒に作成するなど交流を深めました。

他にも、日本の紹介として、富士山や四季、伝統的な着物・浴衣の紹介や、寿司・天麩羅などの食べ物、日本が世界に誇る新幹線、最後に富士通エフサス様の新本社ビルなど紙芝居形式で、授業を行っていただきました。

また、校長先生をはじめとする先生方や生徒だけでなく、村の長老の方々とも交流を深めまし



村の長老や先生方との、バーシーと呼ばれる歓迎の儀式



訪問を歓迎してくれる子どもたち

た。ラマラー小学校でも同様に、子どもたちとの交流を深めるとともに、村の子どもの家庭訪問を行い、家族との対話も行いました。

富士通エフサス様では、労働組合様の呼びかけにより、社員の方の個人の取り組みとして、毎年、建設した学校に通う子どもたちに、ダルニー奨学金もご支援いただいております。延べ約3,100口の奨学金をご支援いただいております。

今回ご参加いただいた、ダルニー奨学金の支援者の方は、ご支援されている中学生との面会

も実現し、双方の絆と交流を深められました。

堀副社長からは「今回の視察ツアーに参加し、ラオスの現状を肌で感じた。また、教育支援は、一時的な支援ではなく継続して実施していくことが重要であると感じた。継続こそが企業としても個人としても、貧困救済そして社会平和を実現することにつながり、その意義は深い」との力強いお言葉をいただきました。

民際センターとしても、株式会社富士通エフサス様の社会貢献活動に敬意を表します。



先生や子どもたちと記念写真



タイの中学校から

ダルニー奨学金の奨学生が在籍するタイの中学校から、

バーンムアンアードポーシー学校

貧しい生徒たちに奨学金を通して学用品などを提供していただき、誠にありがとうございます。

奨学金を受け取った生徒は、他の生徒と同様に、教育の機会を得て生活することができるようになりますので、教師としてたいへん嬉しく、心より感謝しております。

ご支援いただいている奨学生ですが、現在中学3年生でヤソートン県マハーチャナチャイ郡ムアン地区に住んでいます。家から学校の距離は1kmで自転車通学をしています。昨年の成績はとても良く、大人しい性格で社会貢献への精神を持っています。

家庭は貧しく、母親と義父と同居しています。今は出来る範囲で家事を手伝いつつ、教育をしっかり受けて卒業し、家族を支えるために就職したいと思っています。

本校は、ヤソートン県マハーチャナチャイ郡ムアン地区の4つの村、バーンムアン、バーンアード、バーンボン、バーンポーシーの間にある田んぼの真ん中にあり、幼稚園児から中学3年生まで、合計209名の生徒がいます。

素晴らしい機会を与えられた奨学生に代わって、お礼を申し上げます。

この生徒が一生懸命勉強して、彼女と家族の将来のためこの奨学金を有効に用いることができるようサポートすることを約束いたします。（この手紙はご支援者様にお届けしています）

คนที่ท่านผู้ปกครองคุณ ได้รับศึกษาอยู่ที่นี่ ฉันขอ ได้รับนักเรียนในอุปการะของคุณท่าน และท่านผู้ปกครองนักเรียน ท่านการศึกษาต่างๆ ให้กับนักเรียนที่มีฐานะยากจน ทำให้นักเรียนที่ได้รับทุนและมีโอกาสทางการศึกษามีคุณภาพชีวิตที่ดีขึ้นเท่าเทียมกับนักเรียนคนอื่น ๆ ในส่วนตัวครูรู้สึกโสมมใจที่ได้มีโอกาสนี้ และซาบซึ้งในพระคุณของท่านจึงขอกราบขอบพระคุณท่านเป็นอย่างสูง

ส่วนตัวของนักเรียนคนหนึ่งคนดังกล่าวปัจจุบันอาศัยอยู่ที่บ้านโพธิ์ศรี ตำบลม่วง อำเภอนาทม จังหวัดศรีสะเกษ กำลังเรียนอยู่ระดับชั้น ม.3 ผลการเรียนในรอบปีที่ผ่านมาอยู่ในเกณฑ์ที่เป็นนักเรียนที่อยู่ในความประพฤติดีเยี่ยมจิตใจอาสาช่วยงานสังคม ฐานะทางครอบครัวก็อยู่ในเกณฑ์ยากจนอาศัยอยู่กับแม่และพ่อเพียง 2 คน มีความตั้งใจที่จะเรียนต่อให้จบการศึกษาระดับสูงและประกอบอาชีพเพื่อตนเองครอบครัว การกิจทางบ้านก็ได้ช่วยเหลืองานครอบครัวตามกำลังและศึกษาอยู่ที่โรงเรียนบ้านม่วงอาจโพธิ์ศรี(สุวรรณบุรีวิรัชาม) ซึ่งระยะทางจากโรงเรียนถึงหมู่บ้าน 1 กม. เดินทางมาโรงเรียนด้วยรถจักรยาน

โรงเรียนบ้านม่วงอาจโพธิ์ศรี(สุวรรณบุรีวิรัชาม) ตั้งอยู่กลางทุ่งนา ระหว่าง 4 หมู่บ้าน คือ บ้านม่วง บ้านหนอง บ้านโพธิ์ศรี ตำบลม่วง อำเภอนาทม จังหวัดศรีสะเกษ เป็นโรงเรียนขยายโอกาสทางการศึกษานอกเขตอำเภอ อนุบาล- ชั้นมัธยมศึกษา ปีที่ 1-3 มีนักเรียนจำนวน 209 คน

ในนามตัวแทนของโรงเรียนบ้านม่วงอาจโพธิ์ศรี(สุวรรณบุรีวิรัชาม) รู้สึกซาบซึ้งแทนนักเรียน ซึ่งเป็นบุคคลที่ได้รับโอกาสอันดีนี้ และรู้สึกซาบซึ้งในความเมตตาที่ท่านได้รับนักเรียนคนหนึ่งคนดังกล่าวเป็นนักเรียนในอุปการะของคุณครูที่ขอสัญญาว่าจะเป็นหน้าที่ช่วยเหลือเด็กนักเรียนที่ได้รับทุนครั้งนี้ให้เรียน ช่วยเหลือจนสำเร็จไปครอง และให้เงินทุนการศึกษาอย่างสม่ำเสมอเป็นประจำในชีวิตให้มั่นคงตามที่ท่านได้ให้อุปการะคุณ



タイ語から日本語への翻訳作業は、18名のタイ語翻訳ボランティアの方々が手伝ってくださいました。お手伝いいただきましたボランティアの皆様へ心より感謝いたします。今回、その中の一人、前島千恵子さんから、心温まるコメントをいただきましたのでご紹介いたします。

手紙の翻訳にご協力いただいた方からの声

感謝のお手紙が届きました!

感謝のお手紙102通が届きました! その中から2通を今回ご紹介いたします。

バーンノーンフルー学校

奨学金の支援者様に感謝申し上げます。奨学金は勉強のためだけではなく日々の生活にも役立つ最高の恵みです。

奨学生たちはさらに勉強を続けることを希望し、ある生徒は高校、そしてさらに大学へ進学し、将来は貧しい人々を助ける医師になりたいという夢を持っています。また、他の生徒は専門学校へ進み、車の整備士になりたいと願っています。

本校は、ナコーンラーチャシーマー県ダンクントー郡の農村地域にある学校で、バーンノーンフルー村、ノーンサアート村、バーンルン村の3つの村から子どもたちが通ってきます。

幼稚園児から中学生まで、合計140名が、15名の教員から教育を受けています。ほとんどの生徒の家庭は農業に従事し、貧しい状況にあります。

支援者の皆様が生徒たちに与えてくださった優しさに感謝しています。奨学金は学業と生活のために使うことができ、さらに残りをこれからの進学のために利用することもできます。

本校には、まだ多くの生活がままならない

生徒たちがいます。もしその生徒たちが奨学金を受け取ることができるなら、生活の向上やより高いレベルの教育を受ける機会となり、より良い人生になるでしょう。

โรงเรียนบ้านหนองเรือ ขอขอบคุณ ผู้บริจาคทุน ที่ได้มอบทุนการศึกษาให้กับนักเรียนตั้งแต่ชั้น ม.1-3 นับว่าเป็นประโยชน์อย่างสูงที่สุดต่อนักเรียนที่ได้รับทุน ทั้งได้ใช้จ่ายเรื่องของกรณีเงิน การใช้ชีวิตประจำวัน

นักเรียนที่ได้รับทุนการศึกษาจากท่านตั้งใจจะศึกษาต่อสายสามัญคือ เรียนต่อใบชั้นมัธยมศึกษาปีที่ 4-6 เพื่อจะได้ศึกษาต่อในมหาวิทยาลัย ซึ่งอนาคตคือภาระเป็นหมอบเพื่อจะได้มารับทุนเมื่อยี่สิบสองปีข้างหน้าอีกคนมีความต้องการจะศึกษาต่อสายอาชีพ โดยจะเรียนต่อในระดับ ปวช.

โดยต้องการที่จะเป็นช่างซ่อมเครื่องยนดีในอนาค

ข้อมูล โรงเรียนที่ได้รับทุนการศึกษา คือ โรงเรียนบ้านหนองเรือ รหัสโรงเรียน 2494

ตั้งอยู่ที่บ้านเลขที่ 203 หมู่ 9 ตำบลบ้านเประ อำเภอคำชะโนด จังหวัดนครราชสีมา ห่างจากตัวอำเภอคำชะโนด 22 กิโลเมตร ห่างจากจังหวัดนครราชสีมา 84 กิโลเมตร เป็นชุมชนแบบชนบท มีหมู่บ้านที่รับผิดชอบ 3 หมู่บ้าน คือ บ้านหนองเรือ บ้านโนนสะอาด และบ้านห่อ้ง เป็นโรงเรียนขยายโอกาสทางการศึกษา เปิดทำการสอนตั้งแต่ระดับชั้นอนุบาล 2 - ชั้นมัธยมศึกษาปีที่ 3 มีนักเรียนทั้งหมด 140 คน คณะครู 15 คน ผู้ปกครองส่วนใหญ่ประกอบอาชีพเกษตรกรรม มีฐานะค่อนข้างยากจนเป็นส่วนใหญ่

โรงเรียนบ้านหนองเรือ คือของชุมชนในความดูแลที่ท่านมอบให้กับนักเรียนในโรงเรียน

เด็กได้รับประโยชน์อย่างมากจากทุนการศึกษานี้ สามารถนำเงินทุนมาใช้จ่ายในชีวิต

ได้ยังมีส่วนที่เหลือก็สามารถนำไปใช้เรียนต่อในระดับที่สูงขึ้นไป

ซึ่งทางโรงเรียนยังมีนักเรียนอีกมากที่มีฐานะยากจนเข้าศึกษาท่านได้รับทุนการศึกษา

คงจะทำให้ชีวิตความเป็นอยู่ของเขาดีขึ้น สามารถที่เรียนต่อในระดับที่สูงขึ้น ทำให้คุณภาพชีวิตดีขึ้น

โรงเรียนบ้านหนองเรือ



お手紙の翻訳が終わりました。感謝のお手紙を通して、民際センター様の活動を知ることができました。手紙の文面から、学校の先生たちが東北農村部の厳しい気候や生活状況の中でも、暖かく子どもたちの成長を見守っている気持ちや、支援者様に心から感謝し、奨学金を公正公明に生徒の将来のために使うという強い自覚を感じました。

タイ語の技術が未熟で、細かいニュアンスを汲み取れていない箇所も多々あるかもしれませんが…。私も、語学力と感謝の想いを伝えられる「心の純度」を上げたいと翻訳作業を通し、強く感じました。貴重な機会をいただきありがとうございました。(前島 千恵子)

1 「マイ・ページ」を公開しました

「マイ・ページ」は、支援者様と奨学生、そして民際センターとのコミュニケーションを劇的に向上させるためのツールになります。

ご利用いただくことで、メールマガジンの配信や、今までメールやお電話にて都度ご依頼をいただいていた支援者様の住所、電話番号、領収書発行先などのご登録情報の変更が、ご自身で可能になり、尚且つ、年に2回のEDFグループからの郵送物でしか確認することができなかった支援履歴、支援状況表、奨学生写真などを、PCまたはスマートフォン、タブレットから確認することが出来るようになりました。是非とも、ログインしていただき、ご活用くださいますよう、お願いいたします。

◎ ご利用方法について
www.minsai.org/oshirase/mypage

4 「支援者の声」を募集しています

皆様の声を民際センターのホームページ「支援者の声(www.minsai.org/activity/voice)」やダルニー通信などご紹介させていただきます。ご支援された経緯、奨学生とのエピソードなど何でも結構です。事務局までお寄せください。

事務局 Q&A

Q 忘れずに支援するためにはどのような方法がありますか？

A クレジットカードによる寄付にて自動継続による引き落としをご選択ください。

Q 友人が「ダルニー奨学金の寄付を始めてみたい」と言っています。詳しい説明を聞くことができますか？

A お電話やメールでお問い合わせください。また、事務局にお越しいただけましたら職員が直接ご説明いたします。

Q 終活と一緒に考えてくれますか？

A 相続による寄付、遺言書の書き方などの遺贈について、ご支援者様のご要望をお聞きしながら、専門家を交え一緒に考えさせていただきます。是非ご相談ください。

2 ボランティアさん募集中！

民際センターの活動は、多くのボランティアさんに支えられ、随時ボランティアさんを募集しています。

内容は、書類封入・切手整理・データ入力、翻訳、広報資料作成などです。

活動場所は、民際センター事務局やご自宅など、活動内容によって異なります。ご興味のある方は、民際センターまでお問い合わせください。随時、ご相談に応じます。

3 民際センターを紹介してください

皆様のブログ、SNS、ホームページなどで民際センターを紹介してください。ロゴや写真、記事の提供などは事務局へご依頼ください。

Q 支援している奨学生に会いに行けますか？

A 基本的に可能ですが、各国の状況によります。訪問される場合は、必ず事前に民際センターにご連絡ください。

現地事業所から各国の政府機関に申請し、許可が必要な場合があります。

Q 民際センターは、メコン5カ国を支援していますが、どの国を支援して良いのかわかりません。どの国が一番支援を必要としていますか？

A 民際センターが支援しているメコン5カ国の農村地域はいずれも貧しく支援を必要としています。毎年の支援状況により国毎に不足の程度が変わりますので、その都度お問い合わせください。もしくは、ご支援の際に「一番支援が必要な国」とご明記ください。

【編集後記】

月に一度ボランティアに来てくださるS様。丁寧な口調で「お邪魔になるとは思うのですが・・・」とおっしゃり、事務作業を手伝ってくださいます。先日は、リリース前のマイ・ページのテストにもご協力いただきました。その方は、亡き旦那様と約30年前からダルニー奨学金の支援を

されていたのをきっかけに、今は、ボランティアにも参加していただいています。お話をするとその方の温かいお人柄に、私の気持ちまで優しくなります。民際センターに勤めて3年余り、そのようなボランティアさんに支えられていることに心から感謝し、次にお目にかかることができる日を心待ちにしています。(山)



----- 活動をご覧いただけます -----

- ◆ フェイスブック : facebook.com/minsai.org
- ◆ ツイッター : twitter.com/minsaiorg
- ◆ インスタグラム : instagram.com/edf_japan

----- 郵便振替でのご支援はこちらからお願ひします -----

ゆうちょ銀行振替口座:00160-7-664928

- ◀ 表紙の写真 … 夕顔栽培を手伝うベトナムの少年。(東南アジアでは夕顔の果実は食用として一般的)
- ◀ 「ダルニー」とは … 民際センターが奨学金を募り1対1の教育支援を始めるきっかけとなったタイの女の子の名前。現在、民際センター・タイ事業所の職員として働く、4児の母。

このダルニー通信は2020年2月に編集されました。

